2022年7月_中古車市場の動向

1. オークション市場の動向

(1)出品台数

◆7月のオークション出品台数は今月も前年同月の9割程度となり、12ヵ月連続のマイナス。

- ・昨年8月から12ヵ月連続で前年の出品台数を下回った。新車市場の低迷の影響を大きく受け、ディーラー会員を中心に出品が少なく各会場ともに出品集荷に苦慮している。

(2)落札台数

◆7月のAA落札は、前年同月の9割程度となり、7ヵ月連続のマイナス。

- ・各会場のタマ不足により成約率は非常に高く推移しており、落札相場も高騰状態が続いている。1月から7ヵ月連続のマイナスとなった。入札件数は徐々に回復傾向にあり、前年を多少とも上回ってきた。

(3)AA ワンプラ落札台数

◆7月のAA ワンプラ落札は深刻な落ち込みで、前年同月の6割程度となり、11ヵ月連続のマイナス。

- ・昨年9月から11ヵ月連続でのマイナスとなった。AAの出品台数の低迷と高成約率でAA ワンプラへの出品登録台数が少なく、出品車両は質も良くなく割高で低調な状況が続き、USS会場の落札減が大きく影響した。

2. 共有在庫市場の動向

(1)AS ワンプラ（共有在庫）出品台数

◆7月末現在の出品台数は、6月末に比べ1.3万台程度の大幅なマイナスとなった。

- ・5月末より一気に減少傾向となり、7月末までには2万台程度の減少が進み深刻なタマ不足となった。
- ・8月に入っても出品台数は伸びず現状を維持、お盆休みの出品増に少なからず期待したい。

(2)AS ワンプラ（共有在庫）落札台数

◆7月のAS ワンプラ落札は、出品台数減少のなか、前年同月を1割ほど上回り、4ヵ月連続でのプラスとなった。

- ・AAでは出品台数の減少に加え成約率の上昇と相場の高騰の影響により落札しにくい状況からAS ワンプラに流れている傾向となっている。今後も中古車流通市場や小売市場の動向に注視したい。